

社会福祉法人ながのこころ 平成31年度 事業報告書

○ 利用者数の状況

入所利用者数は、1人減少した。特別養護老人ホームへ移るため、入院中の死亡のため2人の方が退所した。一方で、当法人他施設生活介護利用の方が1人入所した。

通所利用者数は、1人減少した。有料老人ホーム、特養等へ移行した方が5人、生活介護へ移行した方が1人、死亡した方が2人退所した。一方で、新規に利用を開始した方が2人、他の施設から移行した方が2人、就労移行・継続支援から移行した方が2人、養護学校卒業者の新規利用者が1人入所した。

就労継続支援A型の利用者は、印刷6人、縫製1人を採用し、印刷2人、縫製4人が退職した。

○ 職員の状況

福祉施設部門では、退職者5人に対し8人採用し、相談支援事業の充実と施設入所支援の充実のための人員を確保した。

福祉工場では、退職者1人に対して5人採用し、営業課、縫製課、支援課の人員を増員した。

○ 経営概況

- ・ ワークサポート篠ノ井は、処遇改善加算の増額による障害福祉サービス収益の増加が、給与改善に伴う人件費増加や事業費増加を上回ったため、サービス活動増減差額は前期比104万円増加した。
- ・ ハートフル五明は、処遇改善加算の増額及び入所利用者の増加により障害福祉サービス収益が増加したものの、人件費も増加したため、サービス活動増減差額は前期比5万円減少した。
- ・ はあてい若槻は、利用者の減少により障害福祉サービス収益が減少し、給与改善等に伴う人件費が増加したため、サービス活動増減差額は前期比713万円減少し赤字に転じた。
- ・ 長野福祉工場の印刷事業は、サービス活動収益は前期比7.3%増加した。外注加工費の増加が製造原価を押し上げ、営業職員の増員や消費税率引上げが販管費を押し上げ、加えて減価償却費の増加により、サービス活動費用は前期比8.3%増加した。サービス活動増減差額は△2,494万円、当期活動増減差額は△1,715万円と前期に続き赤字となった。

縫製事業は、サービス活動収益は制服の大口受注があり前期比23.0%増加した。外注費、労務費、材料費が増加し製造原価を押し上げ、サービス活動費用は前期比21.5%増加した。サービス活動増減差額は56万円、当期活動増減差額は51万円の黒字を確保した。

なお、サービス活動費用の増加には、減価償却資産の耐用年数を財務省令の耐用年数に合わせる変更に伴う影響額（印刷事業 1,231 万円、縫製事業 51 万円）が含まれている。

- ・ ワークサポート篠ノ井、ハートフル五明の 2 施設は黒字を確保したが、前述のはあてい若槻、長野福祉工場ほか各拠点区分が赤字となり、法人全体の当期活動増減差額は 1,342 万円の赤字となった。

I 法人本部（総務部）

1 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応

- ・ 行政からの通知、各種出版物、報道、法人事業の統計などの情報を収集し、利用者の意向に対応したサービスの提供に努めた。
- ・ 収支動向を注視し、経営基盤の安定化に努めた。

2 感染症や災害の対策

- ・ 感染症発生対応訓練を事業所ごとに行った。
- ・ 利用者の食事配膳に従事する職員の保菌検査を 2 回実施した。
- ・ 水防法等の改正に対応した避難確保計画を作成した。
- ・ 令和元年 5 月 22 日 はあてい若槻及び長野福祉工場、6 月 21 日 篠ノ井施設の春季防災訓練を実施した。
- ・ 10 月 17 日 篠ノ井施設、23 日 はあてい若槻及び長野福祉工場の秋季防災訓練を消防署及び地元防災役員の参加を得て実施した。
- ・ 11 月 8 日 さいなみほーむ及びせはらだの防災訓練を実施した。

3 地域住民との交流機会の拡大

- ・ 10 月 5 日（土） 篠ノ井施設で第 42 回コロニー祭を開催した。
- ・ 若槻施設での第 9 回コロニーまつりは、令和元年東日本台風により開催を中止した。
- ・ 案内のあった地域イベントへ積極的に参加した。
- ・ 広報誌ながのコロニー第 14 号、第 15 号を発行した。
- ・ 法人のホームページを随時更新して、情報を発信した。

4 健康で働きやすい職場環境

- ・ 新規採用職員全員の雇入時健康診断を実施した。
- ・ 深夜業務従事職員に年 2 回の健康診断を実施した。
- ・ 新規採用職員及び深夜業務従事職員以外の職員に年 1 回の健康診断を実施した。
- ・ 勤務時間が週 28 時間以上の職員に対し、ストレスチェックを実施し、職員の心の健康づくり及び活気のある職場づくりに取り組んだ。
- ・ 安全衛生委員会及び衛生委員会を毎月開催し、職場巡視等を行った。

- ・ ハラスメント研修を実施した。
- ・ 歯磨きアンケートを実施し、口腔の健康の重要性について啓発した。

5 職員の資質向上

- ・ 職員研修実施要領に基づき、研修会・講習会への参加と職場研修を積極的に実施した。
- ・ ゼンコロ加盟法人との連携や活動への協力を行った。

6 長期的かつ安定的な人材確保

- ・ 施設職員の基本給基準表の切替を行った。
- ・ 国からの処遇改善加算及び特定処遇改善加算を財源として、施設職員へ処遇改善手当①・②を支給することとした。

7 理事会・評議員会

理事会を7回、評議員会を3回開催した。詳細は、平成31年度会議及び行事等報告書のとおり。

8 監事監査

現金監査、決算監査及び中間監査を実施した。詳細は、平成31年度会議及び行事等報告書のとおり。

9 設備投資

(単位：円)

| 購入設備 | 数量 | 単価 | 金額 |
|------|----|---------|---------|
| 軽自動車 | 1台 | 695,000 | 695,000 |

10 その他

- ・ 消費税率改定に伴う対応を行った。
- ・ 改元に伴う対応を行った。

II ワークサポート篠ノ井 障害者支援施設

【利用者数】

| 区 分 | 定 員 | 計 画 | 実 績 |
|----------|-----|-----|---------|
| 施設入所支援 | 40人 | 26人 | 26.5人月 |
| 生活介護 | 44人 | 52人 | 51.2人月 |
| 就労継続支援B型 | 16人 | 16人 | 14.1人月 |
| 短期入所 | 2人 | — | 延べ412人日 |

- ・ 個別ニーズの把握に努め、利用者一人ひとりが充実した生活が送れるように支援した。

- ・ 個別支援計画をもとに、利用者がより満足していただけるよう、支援員が協働して支援する体制を整えた。

1 施設入所支援

- ・ 入所利用の状況に応じた適切に必要な支援と介助を行った。
- ・ これからの暮らし方の選択のために必要な情報提供や提案を行った。

2 生活介護

(1) 生産活動

- ・ 多種多様な作業を揃え、利用者の適正に合わせた生産活動を提供した。
- ・ 生産活動を通して利用者のエンパワーメントを促進した。
- ・ 利用者の作業技術の向上と利用者間の作業技術の継承を支援した。
- ・ 既存作業の継続と新規作業の開拓を行い、安定した作業量と工賃を確保した。

(2) 生活面

- ・ 健康管理や健康状態の改善に向けた支援をした。
- ・ 口腔ケアの必要性を啓発した。

3 短期入所

- ・ 家族の介護負担軽減、地域生活移行の訓練など目的を確認し、必要な支援を行った。
- ・ 状況や状態に合わせたサービスを提供した。

4 就労移行支援

- ・ 平成 31 年 4 月 1 日から平成 35 年 12 月 31 日まで休止。

5 就労継続支援 B 型

(1) 生産活動

- ・ 多種多様な作業を揃え、利用者の適正に合わせた生産活動を提供した。
- ・ 生産活動を通して利用者のエンパワーメントを促進した。
- ・ 既存の施設外就労を継続し、新規の施設外就労の開拓を行った。
- ・ 既存作業の継続と新規作業の開拓を行い、安定した作業量と工賃を確保した。

(2) 生活面

- ・ 一人ひとりに合った充実した生活を送れるように支援した。

6 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 定期健康診断を実施した。
- ・ 予定どおり嘱託医の診察を月 1 回実施し、必要に応じて紹介状を依頼、受診した。
- ・ 必要に応じて血液検査等各種検査を行った。

(2) 状況にあった支援

- ・ 日々の検温、血圧測定や必要に応じてチェック表を用いて把握できた。
- ・ 支援員・栄養士・看護師で情報を共有した。
- ・ 衛生保持の必要性を啓発し、実行困難な利用者には直接介助を行った。

(3) 感染症対策

- ・ 接種不可の利用者 1 名を除き全員接種できた。
- ・ 施設外の研修参加と施設内研修を実施し、知識を習得した。
- ・ 手洗い・うがい・マスクの着用を徹底した。

(4) 医療ケア

- ・ 手順を統一・周知し、安全確実に実施した。

7 給食

(1) 楽しく温かい食事

- ・ 身体状況に応じた食事を提供した。
- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。
- ・ 温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適時適温で提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。
- ・ 適正な栄養量を確保した。
- ・ 療養食を提供した。

(3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。

(4) 感染症対策

- ・ 衛生管理を徹底し、感染症を予防した。

(5) 委託事業者との連携

- ・ HACCP の手法により食品衛生管理を徹底した。
- ・ 療養食、代替食等は個別に対応した。

8 レクリエーション・行事

(1) 利用者の休養・娯楽・元気回復及び祝祭のため次のレクリエーション及び行事を行った。

- ・ グループ行楽（複数のコースで実施）
- ・ 納涼祭
- ・ コロニー祭
- ・ 忘年会
- ・ 成人式

【利用者数】

| 区 分 | | 当期実績 | 前期実績 | 比較増減 | 前期比 |
|----------------|--------|----------|----------|----------|---------|
| 施設入所 支援 | 延べ利用者数 | 9,312 人 | 9,719 人 | △ 407 人 | 95.8 % |
| | 開所日数 | 365 日 | 365 日 | 0 日 | 100.0 % |
| | 平均利用者数 | 25.5 人日 | 26.6 人日 | △ 1.1 人日 | 95.9 % |
| | 平均利用率 | 63.8 % | 66.5 % | △ 2.7 ㊦ | — |
| 生活介護 | 延べ利用者数 | 11,602 人 | 11,670 人 | △ 68 人 | 99.4 % |
| | 開所日数 | 270 日 | 269 日 | 1 日 | 100.4 % |
| | 平均利用者数 | 43.0 人日 | 43.4 人日 | △ 0.4 人日 | 99.1 % |
| | 平均利用率 | 97.7 % | 98.6 % | △ 0.9 ㊦ | — |
| 就労移行 支援 | 延べ利用者数 | 0 人 | 359 人 | △ 359 人 | — |
| | 開所日数 | 0 日 | 235 日 | △ 235 日 | — |
| | 平均利用者数 | 0 人日 | 1.5 人日 | △ 1.5 人日 | — |
| | 平均利用率 | 0.0 % | 25.0 % | △ 25.0 ㊦ | — |
| 就労継続 支援 B 型 | 延べ利用者数 | 2,709 人 | 2,515 人 | 194 人 | 107.7 % |
| | 開所日数 | 270 日 | 269 日 | 1 日 | 100.4 % |
| | 平均利用者数 | 10.0 人日 | 9.3 人日 | 0.7 人日 | 107.5 % |
| | 平均利用率 | 62.7 % | 93.0 % | △ 30.3 ㊦ | — |
| 短期入所 | 延べ利用者数 | 412 人 | 348 人 | 64 人 | 118.4 % |
| | 開所日数 | 365 日 | 365 日 | 0 日 | 100.0 % |
| | 平均利用者数 | 1.1 人日 | 1.0 人日 | 0.1 人日 | 110.0 % |
| | 平均利用率 | 56.4 % | 50.0 % | 6.4 ㊦ | — |

【売上高】

(単位 円)

| 区 分 | 当期実績 | 当期計画 | 計画達成率 |
|------------|-----------|------------|---------|
| | | 前期実績 | 前期比 |
| 生活介護 | 9,298,000 | 10,585,000 | 87.8 % |
| | | 7,639,016 | 121.7 % |
| 就労移行支援 | 0 | 0 | — |
| | | 121,390 | — |
| 就労継続支援 B 型 | 2,951,922 | 2,900,000 | 101.8 % |
| | | 2,237,850 | 131.9 % |

【工賃】

(単位 円)

| 区 分 | | 当期実績 | 前期実績 | 増減額 | 前期比 |
|--------------|------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 生活介護 | 総額 | 7,909,125 | 7,639,016 | 270,109 | 103.5 % |
| | 平均月額 | 12,954 | 12,539 | 415 | 103.3 % |
| 就労移行 支援 | 総額 | 0 | 121,390 | △ 121,390 | — |
| | 平均月額 | 0 | 6,070 | △ 6,070 | — |
| 就労継続 支援B型 | 総額 | 2,508,717 | 2,237,850 | 270,867 | 112.1 % |
| | 平均月額 | 15,022 | 14,626 | 396 | 102.7 % |

III ハートフル五明 障害者支援施設

【利用者数】

| 区 分 | 定 員 | 計 画 | 実 績 |
|--------|------|------|---------|
| 施設入所支援 | 40 人 | 29 人 | 27.1 人月 |
| 生活介護 | 40 人 | 30 人 | 28.1 人月 |

- ・ 7月から夜勤2名体制に移行し、夜勤の勤務体制を充実させた。
- ・ 外部研修に参加し、職員の資質の向上に努めた。
- ・ 施設形態変換時期の検討は着手できなかった。

1 日常生活上の支援

(1) 介護

- ・ 支援員が確実に利用者状況の確認を行い、情報の共有に努めた。
- ・ 事故防止を意識し、必要な方には電動ベッドやセンサーマットの導入を行った。

(2) 入浴

- ・ 入浴介助は週に3回以上行い、必要に応じて洗拭・シャワー浴を実施した。
- ・ 入浴時身体状況を確認し、傷や褥瘡等の予兆を速やかに確認し、医務と連携を取り対処した。

(3) 機能維持訓練

- ・ 日中活動前に体操を行い、必要な方には機能訓練を実施した。
- ・ 生活不活発病予防に努め、散歩等を行い気分転換を図った。

(4) 通院

- ・ 定期通院、嘱託医への連絡相談を行い、診察の付き添いを行った。
- ・ 日々の状態の変化に気を付け、看護師と連携して対応した。

2 日中活動の支援

- ・ 外部講師を活用した積極的な取り組みはできなかった。
- ・ 陶芸の今後については取りやめる方向で考えた。
- ・ 季節を感じる事が出来る行事等に取り組むよう努めた。

3 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 年に2回の定期健康診断の実施と嘱託医の月1回の診察を実施した。
- ・ 必要に応じて血液検査等の各種検査を行った。

(2) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態を把握し、必要な支援を実施した。
- ・ 支援員・栄養士・看護師で情報を共有した。
- ・ 誤嚥性肺炎、褥瘡、尿路感染症等の合併症を予防し、悪化防止に努めた。
- ・ 身体・口腔内の衛生保持の必要性の啓発や疾病予防の支援をした。

(3) 感染症対策

- ・ 職員が感染症対策の知識を習得し、感染症情報を習得した。
- ・ 感染症対策の知識や感染症情報を提供し、予防活動を支援した。
- ・ 手洗い・うがい・マスクの着用を徹底した。
- ・ インフルエンザの予防接種を全員実施した。

(4) 医療ケア

- ・ 外部専門家の助言等を支援員と共有し、安全確実に実施できた。

4 給食

(1) 楽しく温かい食事

- ・ 身体状況に応じた食事を提供した。
- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。
- ・ 温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適時適温で提供できるよう改善努力を行った。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。
- ・ 適正な栄養量を確保した。
- ・ 咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事を提供し、むせや誤嚥性肺炎を予防した。
- ・ 食事前の嚥下体操を継続して行った。

(3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。

(4) 食中毒・感染症対策

- ・ 衛生管理を徹底し、感染症予防を行った。

(5) 委託事業者との連携

- ・ HACCPの手法により、食品衛生管理を徹底した。
- ・ 療養食、代替食等は個別に対応した。

5 行事・レクリエーション

- ・ 春、秋の行楽
- ・ 納涼祭

- ・コロニー祭
- ・忘年会

6 設備投資 (単位：円)

| 購入設備 | 数量 | 単価 | 金額 |
|----------|----|---------|---------|
| ノート型パソコン | 4台 | 115,020 | 460,080 |

【利用者数】

| 区分 | | 当期実績 | 前期実績 | 比較増減 | 前期比 |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 施設入所 支援 | 延べ利用者数 | 9,811人 | 9,493人 | 318人 | 103.3% |
| | 開所日数 | 365日 | 365日 | 0日 | 100.0% |
| | 平均利用者数 | 26.9人日 | 26.0人日 | 0.9人日 | 103.5% |
| | 平均利用率 | 67.2% | 65.0% | 2.2% | — |
| 生活介護 | 延べ利用者数 | 7,433人 | 7,119人 | 314人 | 104.4% |
| | 開所日数 | 270日 | 269日 | 1日 | 100.4% |
| | 平均利用者数 | 27.5人日 | 26.5人日 | 1.0人日 | 103.8% |
| | 平均利用率 | 68.8% | 66.3% | 2.5% | — |

IV はあてい若槻 多機能型事業所

【利用状況】

| 区分 | 定員 | 計画 | 実績 |
|----------|-----|-----|--------|
| 生活介護 | 16人 | 14人 | 12.1人月 |
| 就労継続支援B型 | 25人 | 25人 | 23.9人月 |

- ・ 職員の研修や資格（免許）取得を行うことができた。
- ・ 計画的に個別支援計画を策定し、モニタリングを実施した。

1 生活介護

- ・ 日中活動として、生産活動及び創作活動に取り組んだ。
- ・ 生産活動は、利用者の体調やペースに合わせた軽作業を提供した。
- ・ 創作活動は、外部講師に依頼し、音楽療法を月2回、お話し読み聞かせ等を月1回実施して、利用者を楽しんでいただいた。

2 就労継続支援B型

- ・ 利用者が日々の活動にやりがいや達成感を感じられるよう支援した。
- ・ 取引事業者と連携し、早めの情報収集により売上・工賃とも目標を達成した。
- ・ 施設内就労が多忙なため、施設外就労を休止した。
- ・ 元請事業者の事情から、直接受注に変更したことで売上を増やすことができた。
- ・ 売上及び工賃実績は、次のとおり。

【売上】

(単位 円)

| 当期実績 | 当期計画 | 増減額 | 計画達成率 |
|-----------|-----------|---------|---------|
| | 前期実績 | | 前期比 |
| 6,102,726 | 5,450,000 | 652,726 | 112.0 % |
| | 5,260,529 | 842,197 | 116.0 % |

【工賃】

(単位 円)

| 区 分 | 当期実績 | 当期計画 | 増減額 | 計画達成率 |
|------|-----------|-----------|---------|---------|
| | | 前期実績 | | 前期比 |
| 総 額 | 5,583,258 | 5,000,000 | 583,258 | 111.7 % |
| | | 4,743,108 | 840,150 | 117.7 % |
| 平均月額 | 19,457 | 16,600 | 2,857 | 117.2 % |
| | | 16,879 | 2,578 | 115.3 % |

3 保健

- ・ 利用者の日々の様子や変化を確認し、早めの対応と必要な支援を行った。
- ・ 感染症に対する知識や情報を共有し、予防に努めた。

4 行事・レクリエーション

(1) 年間行事

- ・ 豪雨災害のためコロニーまつりを中止したほかは、計画どおり実施した。
- ・ 利用者の希望を可能な限り実現させ、楽しんで参加いただいた。

(2) 土曜レクリエーション

- ・ 季節に合わせた企画を月 1～2 回実施し、楽しんでいただいた。

5 設備投資

(単位 円)

| 購入設備 | 数量 | 単価 | 金額 | 備 考 |
|--------------------------------|-----|-----------|-----------|----------------------------------|
| ノート型パソコン | 1 台 | 136,080 | 136,080 | |
| 氷雪落下防止網 | 1 式 | 1,014,120 | 1,014,120 | |
| 高圧受電設備部品交換 (第 2 第 3 キュービクル) | 1 式 | 221,843 | 221,843 | 共用設備のため、長野福祉工場負担分を除くはあてい若槻負担分を計上 |

6 利用実績

【利用者数】

| 区 分 | | 当期実績 | 前期実績 | 比較増減 | 前期比 |
|----------------|--------|---------|---------|----------|---------|
| 生活介護 | 延べ利用者数 | 2,165 人 | 2,542 人 | △ 377 人 | 85.2 % |
| | 開所日数 | 248 日 | 251 日 | △ 3 日 | 98.8 % |
| | 平均利用者数 | 8.7 人日 | 10.1 人日 | △ 1.4 人日 | 86.1 % |
| | 平均利用率 | 54.6 % | 63.1 % | △ 8.5 ㊦ | — |
| 就労継続 支援 B 型 | 延べ利用者数 | 5,226 人 | 5,228 人 | △ 2 人 | 100.0 % |
| | 開所日数 | 247 日 | 251 日 | △ 4 日 | 98.4 % |
| | 平均利用者数 | 21.2 人日 | 20.8 人日 | 0.4 人日 | 101.9 % |
| | 平均利用率 | 84.6 % | 83.2 % | 1.4 ㊦ | — |

V 長野福祉工場 就労継続支援 A 型事業所

【利用者数】

| 区 分 | 定 員 | 計 画 | 実 績 |
|------------|------|------|---------|
| 就労継続支援 A 型 | 40 人 | 36 人 | 34.5 人月 |

- ・ 将来的な事業の在り方について検討を進めている。
- ・ 印刷棟の改築に向けた検討は行えなかった。

1 印刷事業

- ・ 売上 3 億 5,155 万円、加工高 1 億 4,260 万円
- ・ 原価上昇を反映して販売価格を引き上げた。競合他社の動向を見ながらの対応となるためまだ十分ではない。
- ・ 営業人員は定数に達した。基本的な内部研修を行ったが十分ではない。
- ・ ワード・エクセルの基本操作、テキスト・画像の取り出し等、操作方法の共有化を計ることができた。
- ・ 印刷オペレーターは条件に合った応募がなく確保できなかった。製本担当者は 1 名採用できた。
- ・ 売上・生産総合管理システムを活用し、資材の仕入れ値や発注数量の調整を行い、原価意識を持って業務に当たった。
- ・ 同じミスをしないう改善を行っているが、詳細な作業指示や声かけが不十分。ミス等によるマニュアル改善は行った。すべての作業のマニュアル補完には至っていない。
- ・ 補助金申請が採択されたもの及び不採択になったものも含め計画的に更新をすることができた。
- ・ 製本関係は新しいミシン機を導入できたが、印刷機器の方は用途が立たず現状維持に努力している。

2 縫製事業

- ・ 売上 1億5,743万円、加工高 4,597万円
- ・ 販売価格の適正化は一部の改善はできたが、まだ反映できていない部分がある。
- ・ 布プリントの機器の納入遅れや、代理店による講習会の中止などにより、製品の出荷まではできなかったが、代理店と連絡を取りながら作業環境づくりを進めた。
- ・ ミシン研修会などを行い育成に努めた。
- ・ 4～9月については受注量が多く計画的な受注生産ができなかった。その後は計画的にできた。
- ・ 原価意識を持って粗利確保に努めたが、外注等についてまだ改善の余地がある。
- ・ 現在マニュアルの作成を進めている。
- ・ 倉庫の整理整頓を行った。工場内は引き続き整理整頓を進める。

3 福祉事業

- ・ サービス管理責任者が中心になって支援課職員に対して指導育成を行った。
- ・ 虐待防止研修会、障害の特性と配慮について、外部から講師を呼んで全職員研修を行った。
- ・ 県社協、市障害ふくしネット等が主催する各種研修会に参加し、知識技術を向上した。
- ・ 相談支援事業所等関係機関を訪問した。特別支援学校生徒の実習を受け入れた。R2年4月3名が利用開始予定。
- ・ 新規事業検討委員会で研究した。紙袋、ストローなどの製造について継続して検討する。

4 保健

- ・ 看護師の健康相談、定期健康診断、感染症予防対策を行った。

5 設備投資・修繕

(単位 円)

| 項目 | 数量 | 実績額 | うち自己資金 | 備考 |
|-----------------|-----|-----------|-----------|------------------------|
| パソコン Win10 | 13台 | 1,581,000 | 1,581,000 | |
| Win10 アップグレード | 7台 | 194,184 | 194,184 | |
| リソグラフ用パソコン | 1台 | 104,500 | 104,500 | |
| キャノン複合機 | 1台 | 299,200 | 299,200 | |
| 自動ミシン機 | 1式 | 5,464,800 | 1,008,000 | 日本郵便(株) (4,456,800) |
| 布プリンター | 1式 | 3,454,000 | 1,454,000 | 清水基金 (2,000,000) |
| 仕切り設置工事(布プリンター) | 1式 | 430,412 | 430,412 | |
| オフ輪基板等取替 | 1式 | 1,224,267 | 1,224,267 | |
| 高圧受電設備部品交換 | 1式 | 1,106,557 | 1,106,557 | |

【売上高】 (単位 千円)

| 区 分 | 当期実績 | 当期計画 | 計画達成率 |
|-----|---------|---------|---------|
| | | 前期実績 | 前期比 |
| 印刷 | 351,550 | 346,450 | 101.5 % |
| | | 327,555 | 107.3 % |
| 縫製 | 157,429 | 150,000 | 105.0 % |
| | | 128,044 | 122.9 % |

【加工高】 (単位 千円)

| 区 分 | 当期実績 | 当期計画 | 計画達成率 |
|-----|---------|---------|---------|
| | | 前期実績 | 前期比 |
| 印刷 | 142,599 | 151,000 | 94.4 % |
| | | 133,837 | 106.5 % |
| 縫製 | 45,970 | 48,350 | 95.1 % |
| | | 45,270 | 101.5 % |

【賃金】 (単位 円)

| 区 分 | 当期実績 | 前期実績 | 増減額 | 前期比 |
|-----------|------------|------------|-----------|--------|
| 賃金 (総額) | 62,731,713 | 63,238,488 | △ 506,775 | 99.2 % |
| 賃金 (平均月額) | 143,223 | 146,047 | △ 2,824 | 98.1 % |

【利用者数】

| 区 分 | 当期実績 | 前期実績 | 増 減 | 前期比 |
|--------|---------|---------|----------|--------|
| 延べ利用者数 | 7,420 人 | 7,632 人 | △ 212 人 | 97.2 % |
| 開所日数 | 236 日 | 239 日 | △ 3 日 | 98.7 % |
| 平均利用者数 | 31.4 人日 | 31.9 人日 | △ 0.5 人日 | 98.4 % |
| 平均利用率 | 78.6 % | 79.8 % | △ 1.2 割 | — |

VI 地域生活支援センターコロニー 共同生活援助 (グループホーム)

【利用状況】

| 名 称 | 定 員 | 計 画 | 実 績 | バックアップ施設 |
|-------------|-----|-----|--------|------------|
| さいなみほ～む | 4 人 | 2 人 | 1.5 人月 | ワークサポート篠ノ井 |
| うわのほ～む | 4 人 | 4 人 | 3.0 人月 | はあてい若槻 |
| グループホームせはらだ | 4 人 | 4 人 | 4.0 人月 | ワークサポート篠ノ井 |

- ・ 担当支援員及び世話人が連携を取りながら関り、利用者は安定した状況で地域生活を送ることができた。
- ・ 上野地区でのグループホームは現在地からの移設を検討している。

VII あいくる 相談支援事業所

【利用状況】

| 区 分 | | | 当期実績 | 前期実績 | 増減 | 前期比 | |
|------------|----------------------------|-----|----------|-------|-------|-------|---------|
| 延べ利用者数 | 計 画 相 談 支 援 | 特 定 | サービス利用支援 | 109 人 | 92 人 | 17 人 | 118.5 % |
| | | | モニタリング | 236 人 | 205 人 | 31 人 | 115.1 % |
| | 児 童 | | サービス利用支援 | 26 人 | 22 人 | 4 人 | 118.2 % |
| | | | モニタリング | 27 人 | 44 人 | △17 人 | 61.4 % |
| | 地域相談支援 一般・地域移行支援 | | | 2 人 | 0 人 | 2 人 | — |
| 障害支援区分認定調査 | | | 1 人 | 17 人 | △16 人 | 5.9 % | |

- ・ スキルアップのため、研修に積極的に参加した。
- ・ 対象者の個別ニーズに応じて、情報提供・調整を行い、地域資源の活用に努めた。
- ・ 行政や関係機関と連携した。

設備投資

(単位：円)

| 購入設備 | 数量 | 単価 | 金額 |
|----------|-----|---------|---------|
| ノート型パソコン | 2 台 | 122,580 | 245,160 |

VIII すまいる 放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

【利用者数】

- ・ 個別支援計画を基に、より良い支援を行った。
- ・ 利用者数確保に努めたが、定員数に近づけることはできなかった。
- ・ 新型コロナウイルスに伴う臨時休校に対応して、必要な児童は午前から利用できるよう開所した。感染防止策を行った。

【放課後等デイサービス利用状況】

| 区 分 | 当期実績 | 前期実績 | 増減 | 前期比 |
|--------|---------|---------|----------|---------|
| 延べ利用者数 | 1,074 人 | 1,133 人 | △ 59 人 | 94.8 % |
| 開所日数 | 247 日 | 247 日 | 0 日 | 100.0 % |
| 平均利用者数 | 4.3 人日 | 4.6 人日 | △ 0.3 人日 | 93.5 % |
| 平均利用率 | 43.5 % | 10.5 % | 33.0 割 | — |

IX ふれんど 障害児自立サポート事業所

【利用状況】

| 区 分 | 利用日数 | | 登録者数 |
|-----------|-------|------|------|
| | 計画 | 実績 | |
| 障害児自立サポート | 127 日 | 95 日 | 2 人 |

- ・ 利用される児童の成長・発達を考えた支援をすることができた。